

受講者募集

連続講座「柳宗悦の主要著作を読む」／講師：松井 健

第2回講座・『工藝の道』 2019年10月26日(土)、27日(日) 13時～16時30分

柳宗悦(1889-1961)のおこなった直観や思索、それをもとにした実践活動は、現在かならずしも正しく伝わっておらず、「民藝」が指し示す意味内容も、独断や偏見によって受け取られていることが多い。その原因の多くは柳の著作を読まず、あるいは読んだとしても、それを読み込んで、柳の主張を十全に理解するという作業を怠り、曲解、誤読をしているためだと思われる。そのような中、柳が遺したテキストから柳の思想を正確に学び理解する機会が待たれている。今回、その要請に従って柳の主要著作を精読し、生涯の思索の跡である全著作のなかに位置付けつつ、祖述(柳の所説を受け継ぎ、講師の意見を加えずにその思想の内実を伝える)する講座を企画することになった。講師には松井健氏を招いて連続講座を開く。1回の講座(2日間/1日3時間、計6時間)で、柳の著作1冊の祖述を終え、最終的には5講座、5冊の祖述を完結する予定である。

講師：松井 健(まつい たけし)

東京大学名誉教授。京都大学理学博士、人類学専攻。

1949年大阪生まれ。2015年東京大学東洋文化研究所教授を定年退職。

民藝関係の著書に『柳宗悦と民藝の現在』(2005年/吉川弘文館)、『民藝の擁護 - 基点としての<柳宗悦>』(2014年/里文出版)、『金城次郎とヤチムン - 民藝を生きた沖縄の陶工』(2016年/榕樹書林)、『民藝の機微 - 美の生まれるところ』(2019年/里文出版)。

○講座と使用する柳宗悦のテキスト(絶版等により変更の場合有り)

第1回講座・『蒐集物語』(中公文庫)／終了

第2回講座・『工藝の道』(講談社学術文庫)

第3回講座・『柳宗悦 妙好人論集』(岩波文庫)

第4回講座・『南無阿弥陀仏』(岩波文庫)

第5回講座・『柳宗悦コレクション3 こころ』(ちくま学芸文庫)

註・参加者は使用テキストを持参し、事前に読んでおくことが望ましい。なお『民藝四十年』(岩波文庫)も資料(柳宗悦略年譜他)として使用する。

主催：日本民藝館学芸部

会場：日本民藝館西館(応接室または食堂)

日時：原則、西館公開日ではない土日の13時～16時30分(途中30分休憩)

実施：第3回は2020年4月4日(土)、5日(日)を予定。年度に2～3回行い、2020年度末までに全5回を終了します。

参考品：日本民藝館の所蔵品や資料などを、講座に合わせて展示ケース内で公開します。

配布品：講師の用意したレジュメ、参考資料のコピーなどを適宜配布します。

定員：35名

募集：1日だけの受講は受け付けません。受講希望の方は裏面申し込み方法をご覧ください。

参加費：1講座(2日間)=7,000円(税込み)/当日現金でお支払い下さい。なお、日本民藝館の入館料は含まれません。

註・休憩時に粗茶をお出ししますので、お気に入りの湯呑を各自持参して下さい。

第2回講座・お申し込み方法

- ・ 先着を優先し、定員に達し次第受付を終了します。
- ・ 往復はがきでの事前申し込みが必要です。(記入は下記をご参照下さい)
- ・ 申し込みの締め切りは9月23日です(消印有効)。
- ・ はがき一通につき申し込みできるのは1名です。
- ・ 申し込みはおひとり一回分のみ受け付けいたします。
- ・ 受講の可否は返信はがきでお知らせします(9月末まで)。
- ・ 日本民藝館友の会の方は会員番号をお書き添え下さい。
- ・ ご質問はお電話で受付いたします。/TEL 03-3467-4527(担当:月森)
- ・ キャンセルなどの場合は必ずご連絡下さい。

○往復はがきの書き方

往信の表：〒153-0041 東京都目黒区駒場 4-3-33

日本民藝館「第2回連続講座」係/月森 行

往信の裏：住所、氏名、年齢、メールアドレス、電話番号(当日連絡のつきやすいもの)

返信の表：返信先の郵便番号、住所、氏名(必ずご記入下さい)

返信の裏：何も記入しないで下さい

日本民藝館

〒153-0041 東京都目黒区駒場 4-3-33

T E L : 03 (3467) 4527

担 当 : 月森俊文